

# 5月臨時会

平成30年第1回臨時会が5月16日に開かれました。町長より、条例の一部改正及び補正予算等全8件の専決処分報告があり、これらを全て承認しました。また、高田・東部両中学校の空調設備改修工事請負契約の締結等3議案について全て原案のとおり可決しました。

議会休憩中に青山前議長の辞職願を受け、大橋前副議長が議長となり、副議長に長澤議員が就任しました。さらに、常任委員会委員及び特別委員会委員を選任しました。また、監査委員の選任についての人事案に同意しました。

## 臨時会の主な質疑内容

**高田中学校空調設備改修工事請負契約の締結**

**問** 工期はいつまで。

**答** 9月末日までであるが、主に夏休みを利用して工事を行う。また、東部中学校も同じ工期を予定している。

**問** 室温の設定は。

**答** 環境省の暑さ指数や日本気象学会の指針に基づき、概ね28度以下で対応したい。

**問** 小学校の計画は。

**答** 当初予算で設計の委託料を上げており、31年度には全小学校の工事を実施したい。

**上多度公民館新築工事請負契約の締結**

**問** 自治町民会議からの新公民館に対する意見の反映は。

**答** 役員の意見はもとより、各地域での話し合いも重ねられたと聞いており、例えば、避難所としては消防団の知恵が入っていたり、女性の立場からは授乳室や調理室等にも意見が反映されている。

**問** 経費削減のため、自治町民会議の事務員が、自治会館の窓口業務も行う考えは。

**答** 委託や統廃合も含めて、今後、検討しなければならぬ課題ではあるが、現時点ではその段階にない。



副議長  
長澤 龍夫



議長  
大橋 三男

この度、歴史ある養老町議長、副議長に就任させていただきました。その重責を肝に銘じ、誠意努力する所存でございます。

昨年は1300年本祭も終え、町外からも多くの人が、この養老の素晴らしい歴史と文化を認識していただきました。それを後世に伝承し一過性で終わらせることなく、今年はネクスト100プロジェクトが立ち上げられました。

また、東海環状の養老ICや名神の養老スマートICも開通し、今後も利便性の高い交通網を利用した雇用を生む企業誘致や、少子高齢化に伴い山積みする諸問題を行政と議会が一体となって明るい住みよい町づくりに寄与し精進する所存でございます。温かい、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 6月定例会

平成30年第2回定例会が6月11日から21日までの11日間の会期で開かれました。

初日（11日）は、町長より、専決処分及び平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書等4議案の報告と、4議案の提案説明がありました。また、養老消防署耐震補強及び災害時救助活動拠点整備工事請負契約の締結については同日可決されました。

なお、平成30年度養老町一般会計補正予算等3議案については総務民生委員会に、上水道事業会計決算の認定等3議案については産業建設委員会に付託しました。

2日目（20日）は、議員6名が一般質問を行い、ケーブルテレビ収録がありました。

最終日（21日）は、総務民生委員長及び産業建設委員長より、付託された議案についての審査の経緯と結果の報告があり、条例の一部改正や平成29年度一般会計補正予算など5議案について、すべて原案のとおり可決されました。また、林輝見議員の監査委員辞任に伴い、後任に吉田太郎議員を新任する追加提案の人事案に同意しました。

## 定例会の主な(総括)質疑内容

**養老町放課後児童健全育成事業設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

**問** 支援員の要件として、5年以上従事し、町長が認めた者という項目を追加した意味は。

**答** 改正前は放課後児童クラブの経験が豊富であっても、高校を卒業していないと支援員になれなかったが、改正後は中学を卒業していれば支援員になれるようになる。

**養老消防署耐震補強及び災害時救助活動拠点整備工事請負契約の締結**

**問** 食堂厨房改修について、1回に何人の配給が可能か。

**答** 現在の食堂設備を活用し、10名を予定している。なお、非難者は交替で食事等をとって頂く。

**問** 食堂厨房改修は、避難者又は消防署・役場職員のどちらを対象としているのか。

**答** 本工事の目的は、両方を対象としており、発災直後には、避難者等の一時避難場所として、それに伴う食事休憩等の施設とし、大規模災害時には、自衛隊、警察、他の自治体消防などの支援の受入れ施設とする。

**問** 訓練台新設工事について、現在の訓練台の設置時期は。また、その新機能は。

**答** 設置時期は昭和51年。新機能としては、救助活動時に落下防止の網の収納をできる構造となっている。

**問** 耐震補強工事について、IS値(耐震指標)は。また、震度6強の地震にどの程度耐えられる想定か。

**答** IS値は0.9。IS値0.9とは、防災拠点として活動することを目標とした値であり、構造体の破損がなく継続して業務の継続ができる設計となっている。

**問** 追加工事の可能性は。

**答** 平成28年度から基本設計、実施設計と進めており、この2年間に十分議論して来ているので、追加工事等はないようになっていく。

**問** 管理業務の委託先は。

**答** アスク建築設計事務所。

**平成30年度一般会計補正予算**

**問** 庁舎及び消防本署の非常用発電設備改修工事について、2億900万円の町債を組む、3億を超える補正予算であるが、当初予算に入らなかった要因は。

**答** 当初予算に計上するのがベストであったが、設置場所の検討に大変時間がかかり、設計が予定より遅れたため。